



【めざす生徒像】

自ら未来を選択、決定できる自立した生徒

今月は、3年生の修学旅行特別号になります。

6月9日（月）～11日（水）3年修学旅行

例年、雨に悩まされる修学旅行でしたが、今年は、修学旅行に合わせたように沖縄県が梅雨明け宣言。3日間快晴に恵まれた修学旅行となりました。

（1日目）出発の飛行機の離陸が約30分遅れるというスタートではありましたが、子どもたちがしっかりと時間をイメージして、早めの行動を心がけてくれ、沖縄での体験についてはほぼ時間通りに始めることが出来ました。平和祈念公園での平和セレモニーでは、子どもたちがみんなで作った折り鶴を献納し、これからの平和を守るために自分たちに何ができるかをしっかりと考える時間となりました。平和祈念資料館では、沖縄戦の歴史について学習し、戦争は誰も幸せにならないことだと学びなおしました。ガマ入壕体験では、ひめゆり学徒隊が派遣された系数アブチラガマに入りました。当時の人たちがどういった気持ちでガマでの時間をすごしたのか、みんなで考える時間となりました。みんながしっかりと早く行動できたので、南部を出発する頃には、30分程度の余裕をもって進めることができ、宿舍到着後、自由時間をとりながらゆっくり過ごすことが出来ました。

（2日目）2日目も朝から快晴。午前中は美ら海水族館へ。大水槽のジンベエザメ、オキちゃんイルカショーなど、班別行動で水族館を回りました。大水槽の迫力は、沖縄ならではのもので、貴重な体験となりました。午後は、もとぶ元気村でのマリン体験。バナナボート、コーラルビュークルージング、ドルフィンプログラムの3つのアクティビティに分かれ、クラスごとに回りました。バナナボートでは、沖縄の海をスピードに乗って駆け回り、テンションは最高潮に。コーラルビュークルージングでは、サンゴ礁と、そこに住む生き物たちを船底からガラス越しに眺める体験を。ドルフィンプログラムでは、イルカだけでなく、ヒトデやナマコにも直接接触することができ、一生の思い出に。夜は、学年レク。みんなの考えたレクリエーションで、楽しい時間を一緒に過ごさせてもらいました。

（3日目）3日目も快晴。宿を出発し、まずは嘉手納基地付近へ。道の駅から道路一つ隔てたところに見える基地に、今なお残る沖縄の戦争の歴史を考えさせられました。そのあとは、守礼門。まだ首里城は修理中のため、入り口だけを少し体験。午後からは、国際通り班別行動。事前調べてチェックしたお店にみんなでGo！タコスや、オリジナルバーガー、ソーキそばに沖縄ステーキなど、現地のグルメを堪能したあとは、楽しいお土産選び。ジンベエザメのぬいぐるみが流行。帰りの飛行機の手荷物に入るか心配になるくらいのサイズを手に入れた子もいました。あっという間の3時間。

あっという間の3日間でした。みんなが時間を守り、ルールを守り、しっかりと頑張れた修学旅行になりました。今回の経験、学びをこれからの人生に活かして、平和な社会づくりにしっかりと向き合ってもらえたらと思います。どうぞよろしくお願いします。

6月23日（月）平和集会

沖縄戦の終戦にあたる、沖縄慰霊の日にあわせて平和集会を開催しました。3年生の子どもたちが、修学旅行で学んだ沖縄の歴史や、平和についての気持ちを資料にまとめて発表してくれました。発表の中でも、祈念資料館やガマ、平和の礎など自分たちの体験に基づく説明は、後輩たちにもしっかり伝わったとおもいます。最後に、私から子どもたちに伝えたことは、『争いは双方の思いがぶつかりあって生まれるものである。大きな争いを1人の力で止められることは難しい。ただ、一人ひとりが意識することで小さな争いを防ぐことはできる。怒りや憤りを覚えた際にも、一度、自分に落ち度はなかったのか、相手はどういう気持ちなのかという視点を持つことで、分かり合えることもある。世界中のみんなが、相手を憎むのではなく、相手のことを考える気持ちを持ち続けることで、いつか争いのない世の中につながるのではないか。』という内容の話をさせていただきました。



学校では、感情のままに行動するのではなく、相手の立場に立って考えることの大切さ、自分の思いをしっかり伝えることの大切さを日々の授業などを通して伝え続けています。失敗してもいいので、しっかり自分と向き合い、チャレンジしてもらいたいと思います。本校職員一同、全力で支えていきますので、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。